

## 第 19 回関西地区お祈り会の報告 2012.06.03

チャンドラゴナー宮川会の皆さまへ 皆さま、お元気ですか。蒸し暑い日が続いています。  
☆6月3日に開催しました関西地区お祈り会に宮川さんから送って貰いました「祈りの課題」を  
下記にお知らせします。日々のお祈りの時に、ぜひご活用下さい。  
お祈り会は、JOCS 関西事務所にて3名の参加で行いました。

次回の関西地区お祈り会は、第2期が終了して宮川さんの帰国後になります。10月の予定です。  
榛木 恵子

☆現在、JOCS は宮川真一ワーカーの報告会の申し込みを受付けています。  
ご希望の方は、JOCS のホームページから、JOCS 東京事務所 担当高橋さんに問い合わせ下さい。  
<http://www.jocs.or.jp/jocs/>→事務局便り→宮川真一ワーカー帰国報告会をクリック

### (第 19 回関西地区お祈り会の祈りの課題) -----

- 1) 新政権下でも、相変わらず人権を侵害されたり生活が脅かされたりする人がいること  
イスラムの国・最貧国であるが故の不条理は、毎日のように耳にします。  
特に女性や難民・少数民族の人たちの人権は、なかなか守られません。  
都市では、相変わらず強盗・殺人・誘拐などの凶悪犯罪も増えてきています。
- 2) 継続しているチッタゴン丘陵地帯での少数民族と入植者の対立が早く平和的解決に向かうように  
現在、目立った衝突はありませんが、依然水面下での緊張状態は続いています。
- 3) 地域医療プロジェクトについて  
新たな2つのユニオン(行政区画)でのBMW(村の御母さんたちの保健ワーカー)の活動は継続中です。  
母子保健を中心とした新しいプロジェクトも順調です。
- 4) 医師・ナース他、医療者の病院内での活動について  
病院全体としては、落ち着いています。  
若いスタッフナースは、がんばっています。彼女たちの気持ちが萎えて行かないようにサポートしていきたいと思  
っています。
- 5) 付属看護専門学校に学ぶ看護学生たちについて  
モハムニ母子寮からきたプリヤンカさんにJOCSの奨学金がおりました。  
先日、戴帽式が終わり、最初の試験ではクラスで2番という好成績をおさめました。正の連鎖が続きますように。
- 6) 病院内バプテスト教会、CLC 教会がより充実しますように  
婦人家庭祈祷会が守られますように ずっと願っていた専任牧師が教会に赴任されました。皆様のお祈りに感謝  
いたします。
- 7) 貧困の為に奪われていく命について  
お金がなければ、命も削られていく、かといって我々が出来るサポートは限られる。  
やはり毎日、この連続です。
- 8) 働きたくても職が与えられない人たち、お金のために命がけの仕事をする人たちを覚えて  
廃船処理場(ヤード)や工事現場、児童労働のことを覚えて。
- 9) CHC での私達の活動について  
内視鏡とエコーは、コンスタントに依頼があります。現地医師たちに少しでも、技術移転が出来ますように。
- 10) 海外協力に興味を示す若者にたちを覚えて  
大阪女学院の学生さんやいきいき人間研究会の方たちがCHCを訪問されました。  
この気持ちの輪が続いていきますように。
- 11) 家族について  
お陰様で、理世(みちよ)・理希(りの)・真尚(まさたか)・紗和(さわ)みんな元気です。
- 12) JOCS の活動・職員・ワーカーについて  
JOCSワーカー一人一人と職員、また、それを支える人たちの事を覚えて。
- 13) スタディーツアーについて  
JOCS創立50周年記念スタディーツアーは無事、有意義に終了いたしました。  
以上、よろしく願いいたします。